

会 議 議 事 録

1 会議名	平成29年度 第2回長岡市図書館協議会
2 開催日時	平成30年2月15日（木曜日） 午後1時30分から午後3時20分まで
3 開催場所	長岡市立中央図書館 2階 講座室1
4 出席者名	<p>(委員) 10名</p> <p>渡邊誠介委員長 淵本紀子副委員長 恩田里士委員 酒井美通男委員 関川典子委員 野澤麻美委員 保科幸太郎委員 松本和明委員 吉原満委員 渡邊茂夫委員</p> <p>(事務局)</p> <p>金澤教育部長 山田館長 梅沢館長補佐 平澤庶務係長 石井奉仕係長 田中文書資料室長 長瀬主査 指定管理者：長谷川統括責任者 渡辺業務チーフ</p> <p>(傍聴人) 0人</p>
5 欠席者名	なし
6 議題	<p>(1) 報告事項</p> <p>① 平成29年度の主な事業について ② 第二次長岡市子ども読書活動推進計画について ③ その他</p> <p>・ 県公立図書館協議会委員連絡協議会の報告 ・ 地域図書館の指定管理について</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①平成29年度長岡市立図書館の活動評価（案）について ②平成30年度の運営方針（案）について ③平成30年度の主な事業計画（案）について</p>

7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・議題 (1) について <ul style="list-style-type: none"> ①、②、③の報告事項について報告された。 ・議題(2)について <ul style="list-style-type: none"> ①について、重点事項評価 1、②「郷土資料の充実」について B から A に修正し、承認された。 ②、③とも、事務局提案のとおり承認された。
8 審議の内容	
委員長	<p>それでは議事に入ります。最初に報告事項①「平成 29 年度の主な事業について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>資料 No. 1「平成 29 年度の主な事業について」をご覧ください。ここに記載されている事業を中心に説明させていただきます。まず、今年度の大きな節目といたしまして 100 周年記念のプレイベントの実施がございませう。</p> <p>①「図書館 100 周年ロゴマークの作成」について 6 月に 6 つの候補から市民投票を行い、2,355 票の投票の結果、皆様にもお諮りいたしましたマークを決定し、この度缶バッジを作成いたしました。</p> <p>また、このマークは決定後さまざまな広報に利用しております。図書館ホームページやフェイスブックにも活用されておりますので広く浸透してきております。この歴史ある図書館を市民に周知することに一役買っております。皆さまにもこのバッジをつけていただいて周知にご協力いただければと思います。バッジにつきましては新年度以降、イベントの際や各地域図書館におきまして、詳しくは来年度事業の部分で説明いたしますが、6 月 8 日が創立記念日にあたり、6 月 8、9、10 の 3 日間がちょうど金、土、日曜日に当たるためその期間を「図書館まつり」として各種イベントを計画しております。その際、缶バッジを無料配布することなど宣伝に活用していきたいと考えております。</p> <p>続きまして②「図書館の思い出」について説明いたします。図書館 100 周年に合わせまして市民の皆様から図書館にまつわる思い出について作文を公募いたしました。これにより図書館について振り返っていただく機会となることを狙いといたしました。結果、1 月 30 日の締め切りまでに 20 作品の応募がありまして、13 才の中学生から 80 才以上の方まで年齢等広く応募がございました。</p> <p>内容については古くからある互尊文庫のみならず、中央図書館や地域図書館に関する思い出も寄せられております。今現在集約中ですが皆さま良い内容の作品を送ってくださっておりますので今後ホームペ</p>

ージや文集などの形で広くご覧いただける機会を設けたいと考えております。

また、長岡市出身の天才プログラマーである清水亮さんが小中学生のころに中央図書館をご利用いただいていたそうで、こちらにお越しただいてインタビューさせていただける機会がございました。お配りしたのですがその内容をまとめたものになります。大変面白い内容となっておりますのでお時間があればぜひ一読ください。

続きまして資料裏面になります。③「としょかんクリスマススペシャルコンサート」についてです。毎年、当館の講堂を使いまして、音楽と絵本を結び付けるような内容の催しを実施してまいりましたが、今年度に関しましては、100周年イベントのスペシャルなコンサートといたしまして、このようなチラシを作り、今回は「アンサンブル・オビリー」というプロの弦楽四重奏の団体から絵本「ぐりとぐらのおきやくさま」をテーマに作曲家の方から作曲していただきました。それをスクリーンに投影した絵本と合わせて演奏していただきました。これが音楽の演奏に合わせた絵本の読み聞かせという全く新しい試みとなりました。

朗読については JPIC（ジェイピック）読書アドバイザーの方をお願いしました。JPIC というのは一般財団法人の出版文化産業振興財団が行っている資格ですが、読書を通じた生涯学習への参加を図るために資格を設けて、アドバイザーの方に読書活動を推進してもらうという趣旨の物になります。

こちらの写真にございますが、公演の休憩時間には子どもたちへの楽器体験を行ったり、関連絵本をご覧いただくなどし、大変ご好評をいただきました。時期的にクリスマスということでこの絵本の内容もクリスマスにちなんだものになりますが、他にもクリスマスに関連する曲の演奏などにより質の高いコンサートとなりました。

続きまして2「詩人堀口大學と長岡」展の開催です。こちらは先ほど部長から概略をご説明いただきましたが、11日間の会期中で1,227人と非常に多くの方にご来場いただきました。今回は県立近代美術館との連携ということで、当館美術センターの新たな在り方の展開となりました。

その時の図録を参考までにお配りしておりますが、近代美術館に飾ってあるものを中心に、私どもの堀口大學コレクション 6,735点の中から精選し、貸出・展示されたものが70～73ページに記載されております。結果、近代美術館のお客さまからも中央図書館はこんなに素晴らしいものを収蔵しているんだ、ということで大好評でございました。こちらもお時間のある時にご覧いただきたいと思っております。

	<p>続きまして次ページの3「長岡市災害復興文庫展 2017 震災避難所の記録と記憶」ということで、毎年地震発生の10月に合わせて震災関連の催しを実施しておりますがこちらの方は文書資料室の取組により行っております。今回は特に帝塚山大学非常勤講師で元神戸大学図書館の関係で阪神淡路大震災に関わっておりました稲葉洋子さんと先般ございました熊本地震の関係で被災資料の収集にご尽力された熊本森都心プラザ図書館長河瀬裕子さんのおふた方をご招待しましてシンポジウムを行ったというのが大きな企画となります。参加者は60人程度となりましたが、非常に質の良いイベントになりました。詳細につきましては後ほどの活動評価で説明したいと思います。</p> <p>続きまして4「図書館の設備改修」についてです。中央図書館も地域図書館も経年劣化により大分傷みが出てきている部分がございますので年度計画により実施しております。今年度に関しましては市民からの要望もあり、中央図書館正面玄関の階段にスロープと手すりを設置いたしました。他にも現在美術センターの壁面の改修を行っております。後は一階多目的トイレに洗浄便座の取り付けを行いました。</p> <p>地域図書館の方では大きな工事といたしまして西地域図書館で空調設備の大規模な改修を行いました。後は障害者用駐車スペースが用意されておりますが、利用者から分かりにくいとの声ございましたので、より分かりやすいご案内をさせていただきました。</p> <p>以上のように施設の整備・改修に努めながら様々な事業を展開しております。個々の事業につきましては後ほどの活動評価の中で各担当よりご説明したいと思います。</p>
委員長	<p>ただいまの報告についてご質問・ご意見ある方はいらっしゃいますか。無いようなら承認したいと思いますですがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>では、承認することとします。続きまして報告事項②「第二次長岡市子ども読書活動推進計画」について説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係主査	<p>資料No. 2、No. 3をご覧ください。長岡市では平成25年に第一次計画を策定しました。今年度が一次計画の最後の年にあたるため、来年度から第二次計画を実施していくために策定準備を進めてまいりました。資料No. 2の最後のページに策定の経過が記載されております。これらの会議を重ね、2月5日に第2回の策定委員会を行いました。この協議会のA委員にはこちらでも委員を務めていただいております。</p>

	<p>本日お配りしたものはこの策定委員会での意見を反映させたものになります。現在は関係課に照会して調整を進めている段階となっております。こちらの資料につきましては後ほどゆっくり目を通していただければと思います。年齢ごとに一次計画を振り返り、課題を挙げ、今後の方向性を示す構成となっております。</p> <p>No. 3の資料について説明させていただきます。左側の枠内に計画の基本方針を挙げております。「成長段階に応じた読書環境の整備を進めます。特に子どもの読書習慣の形成に大きな影響を持つ乳幼児期の家庭での読書活動に重点を置きます。」「子どもの自主的な読書活動を推進するために家庭・地域・学校・図書館等の関係機関の連携を強化します。」「情報メディアの普及による社会情勢の変化を踏まえ、読書に親しむ機会の充実を図ります。」以上の3点に基づき計画を進めてまいります。今後5年間取組を進めながら関係各課と連携し子どもの読書活動の推進に尽力したいと思います。</p>
委員長	<p>ただいまの報告についてご質問・ご意見等のある方はいらっしゃいますか。A委員から補足などありますか？</p>
委員	<p>特にありません。</p>
委員長	<p>他の方もよろしいでしょうか。それではこの報告事項について承認したいと思いますのですが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>では、承認し議事を進めたいと思います。次に報告事項③「その他」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局・館長補佐	<p>10月11日に新潟県立図書館で行われました新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会、新潟県公共図書館児童部門研究集会に参加いたしました。その際に副委員長とB委員からも一緒にご出席いただきましたので報告させていただきます。お手元にお配りしてあります新潟県図書館協会報の5ページ上の方に新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会の報告とありますがこれに参加してまいりました。</p> <p>詳しくは後ほどお読みいただければと思いますが、宮川健郎武蔵野大学教授から「児童文学と「声」－「聞くことのコップ」が満ちるまで－」というテーマでご講演頂きました。図書館からは私含めて3人の職員が参加しましたが、この「聞くことのコップが満ちるまで」と</p>

委員	<p>というのが何かと申しますと、子どもたちはみんな聞くことのコップを持っていて、そのコップが読み聞かせなどの多くの声で満たされて一杯になると自立した読者になるのだということです。子どもの読書に関わる方には知っておいていただきたい良い表現だと参加した職員が申ししておりました。突然ではありますがご出席いただいたB委員から一言ご感想をいただければと思います。</p> <p>私はこの宮川先生のプレスされた絵本をですね、1ページに1行の言葉を書かれたということで、詩を読む時に、長い詩でもそうなんですけど1行1行に世界があるんです。2行目はまた別の世界がある。1行1行それぞれに世界があるというのがすごく眼を見開かされました。現代詩の方が難しいんですけど、それは1行がそういう世界を持っているということは、例えば図書館でも空間、こういう部屋や閲覧室があるんですけど部屋そのものがそれぞれの世界を持っている。そんな空間づくりも何か詩の世界に通じるような大変良いお話でした。</p>
事務局・館長補佐	<p>ありがとうございました。副委員長からもお願いします。</p>
副委員長	<p>私も聞いていてすごく新鮮だったということをやったら、参加した図書館の皆さんの中にはもう何回か聞かれた方もいらっしゃるって、すごくためになってよかったと思います。</p>
事務局・館長補佐	<p>ありがとうございました。この件については以上です。</p>
事務局・館長	<p>私からも一つご報告いたします。地域図書館が指定管理制度ということで平成20年度から5年ずつ2期の指定管理期間がございまして平成29年度で2期目の5年が終了いたします。それで平成30年度からの次の指定管理者を決める公募の手続きを平成29年度の5月から進めてまいりました。</p> <p>選定委員会や公開プロポーサル、募集事務の結果、12月の議会で指定管理者の議決がなされましたのでそのことをご報告させていただきます。指定管理者の選定につきましては地方自治法によりまして、地方公共団体議会の議決を経ることになっておりますので、それに則り議決がなされました。</p> <p>結果、西・南・北地域図書館の3館につきましては平成30年4月1日から平成35年3月31日までの5年間、株式会社図書館流通センターに決定いたしました。互尊文庫につきましては、管理者は同じく図書館流通センターですが期間については、こちらは平成30年4月1日</p>

	<p>から平成 34 年 3 月 31 日までの 4 年間となりました。これについては現在市の方で検討を進めておりますが、大手通りの再開発の関係で新しいまちなか図書館を作る計画の進捗状況に対応するためです。</p> <p>続きまして中之島・寺泊・栃尾地域図書館の 3 館について指定管理者は NKSTRC 共同事業体が指定管理者となりました。こちらの 3 館についてはいずれも図書館が文化センターの中に設置されていることからこれらの施設を管理する会社が指定管理者となりました。こちらも現在の指定管理者に引き続きお願いする形となります。なお、栃尾地域図書館については指定期間が平成 33 年 3 月 31 日までの 3 年間となっております。現在、栃尾地域の公共施設の再編が行われており、今後計画を進めていく中で指定期間をひとまず 3 年ということにし、施設の再配置などの進捗状況に対応するための期間となっております。</p> <p>指定管理につきましてはこのような流れのなかで正式には 3 月の議会で予算の議決がなされ、また 4 月から年度協定を締結して地域図書館の指定管理をしていただく予定となっております。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの報告について、ご質問・ご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>では、ないようですので、この報告について承認することとします。今度は協議事項に移りたいと思います。協議事項①「平成 29 年度長岡市立図書館の活動評価案」について事務局からお願いします。</p>
<p>事務局・館長補佐</p>	<p>長岡市立図書館の活動評価案ですが、内容に入る前に評価方法についてご説明いたします。</p> <p>平成 29 年度の評価項目については昨年 7 月に開催しました第 1 回協議会で評価項目について事務局から提案したものを委員の皆さまからご意見をいただき決定したものになります。お手元の案では事務局が評価したものを記載しております。本日はこの評価案についてご意見をいただき、協議会として評価を決定していただきたいと思います。審議の時間を多くとるため昨年度と同様に 1 ページに示してあります。平成 29 年度重点事項 6 項目のうち 3 と 5 については内部評価のみとしましてここでは審議をしないこととしております。</p> <p>本日お示しします実績については 4 月から 12 月までの 9 か月分となっております。この 1 月から 3 月の分を加えた 1 年間の実績については来年度の第 1 回協議会で報告いたします。審議の進行については委</p>

<p>委員長</p>	<p>委員長から皆さまへのお諮りをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは審議の進め方について皆さまにお諮りしたいと思います。まず活動評価案の6、7ページをお開きください。こちらの基本評価について評価を行いたいと思います。次に8ページ以降の重点事項を項目ごとに評価し、最後に2ページの評価の概要についてご審議いただくという進め方でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。それから、以前我々からお願いしたことですけども重点事項の3、5は極めて内部的な話なので審議は省略するというごをお願いします。これは以前我々から提案したことです。</p> <p>重点事項評価の最後に事務局から内部評価の結果を報告いただくということです。また、図書館協議会としての意見については本日皆様から頂いたご意見を委員長の職務として私が集約するというごができますか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>ご承認いただき、ありがとうございます。それでは協議に入ります。基本評価について事務局からお願いします。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>最初にこの基本評価ですが「利用状況」と「管理運営費」の項目があります。個々の詳細については後ほど担当から説明いたします。</p> <p>基本評価については基本的に数値から割合で評価をつけております。利用人数につきましては今現在の数値ということで年度が終わった時に最終の評価となるため若干の変動はありますがご容赦ください。では、担当から説明いたします。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>まず、1「利用状況」について説明いたします。こちらは平成27年度、28年度は12か月分、平成29年度は4月から12月までの9か月分となります。比較のために平成28年度は9か月分の数値を括弧書きで入れております。</p> <p>入館者数ですがこちらは中央図書館のみの数値となります。平成29年度は中央図書館が電気工事やシステム更新のため、月末に土日祝日が重なった際の特別開館日が減っております。また、西地域図書館で空調の工事を行ったことや中之島地域図書館が入っている文化センタ</p>

<p>事務局・庶務係長</p>	<p>一で大規模な水漏れが発生したため臨時休館をしました。そのため図書館全体での開館数が減少したので入館者数や個人貸出冊数、予約件数の数値が減少しております。</p> <p>有効登録者数については、長岡市民のうち有効期限内の貸出カードを所持している人とその割合になります。実登録者数はこれについては年間1回でも貸出を行った方の割合を出しております。こちらについては実登録者数については現在「AA」ということで9か月分としては昨年度よりも多い形の評価になっておりますが、年度が終わった際は前年度より少なめになることが予想されます。</p> <p>基本評価については前年度との比較により評価しております。2ページをご覧ください。「AA」が前年度を大きく上回った。「A」が前年度を維持進捗した、「B」が前年度を下回った、「C」が前年度を大きく下回ったという形で評価をつけております。</p> <p>次ですが、インターネットアクセス数も減少しております。中央図書館の開館日数は、295日の見込みとなっております。こちらは平成26年度と同様の形になっております。</p> <p>特別図書の転載許可件数ですがこちらは開府400年と戊辰戦争から150年ということで図書館の貴重資料の貸出は前年度よりも増加しております。郷土資料の受け入れ点数は現在1971冊で昨年度の2504冊よりも少ないですが今年度が残り3か月ありますので、数値については今後変動すると思われま。</p> <p>窓口対応満足度につきましては年一度アンケートを取っておりますが、こちらの数値は上昇しております。大活字本につきましては9月に400冊ほど新規冊数を増加させ好評を得ております。新規購入に伴い古く不要になった本も出てきたため冊数としては、購入数よりは上昇値が小さくなっております。新規購入冊数の項目ですが、こちらが新規に購入した冊数になり、下に記載されているものが図書館の所蔵冊数に対する割合となっております情報の新鮮さの目安を表示しております。説明は以上です。</p> <p>次に、2「管理運営費」について説明します。表をご覧くださいますと平成27年、28年度につきましては決算額を記載してあります。今年度については年度途中のため当初予算額を表示しています。ここでは予算額と決算額を比較することが難しくなっておりますので次回協議会の際には今年度の数値を示して説明いたします。1点申し上げますと下に記載がございます「うち事業費」の金額が年度によって増加・減少いたしますがこれは臨時経費となり、施設の改修経費などが含まれるためです。以上です。</p>
-----------------	---

委員長	ただいまの説明についてご質問のある方はいらっしゃいますか。
委員	有効登録者数の登録者は、何か登録するための資格があるのか。
事務局・奉仕係長	カードの登録に関して年齢などの制限はありません。この場合はあくまで有効カードをお持ちの登録者のことです。
委員	そうすると、登録率はどのような計算によって算出したのか。
事務局・奉仕係長	長岡市の全市民に対する有効登録者の割合です。
委員	まだ年度途中であるが、この実登録者数「AA」と登録者率「A」となっている点について年度末ではどのように変動する見込みを持っているか。
事務局・奉仕係長	去年が最終的には36,580人という数値ですが、今年度はそれを少し下回る見込みです。入館者数などが減少しているためこちらも上昇することは見込めないと考えています。
委員	最終的には「B」程度になる見通しか。
事務局・奉仕係長	「A」か「B」になると考えております。
委員	登録率だが例えば長岡市は20数万人規模の市であるが、他の市町村を比較した場合、全国的にどのような位置づけになるのか。
事務局・奉仕係長	全国的には登録率は20%程度と言われておりますが、長岡市は合併により図書館がある地域とない地域ができております。無い地域については市役所の支所内に取次所を設けて貸出と返却業務を行っておりますが、カードを作る手続きが図書館窓口に来ていただく必要があるため、地域ごとにどうしてもこちらの手が届いていない地域があると考えております。
委員長	よろしいでしょうか。それではこの評価についてご意見を伺いたいと思います。
委員	「C」評価になっているところが当然目立つわけだが、郷土資料の

	<p>受け入れということは年によって増減するものだと思う。ただ今回は減少幅が大きいことが気になる。この場合は落ちるなら落ちるなりの理由があると考えるべきである。私が思うに2つ理由があり、1つが関係機関や市民レベルで郷土資料があるはずだが、それを図書館に提供しようという雰囲気醸成がまだ足りないのではないか。その点で図書館の受け入れ態勢の周知が不足している。2つ目にこれは文書資料室の管轄なのだろうが、そちらも様々な事業を行っていて大変なのだろうと思う。見ている中で人数が十分とは言えない中で手が回り切っていないという懸念もある。その点含めて現状についてどう考えているのか。</p>
事務局・館長	<p>おっしゃる通り、市民から郷土資料の寄贈を受け入れる場合と、資料を購入する場合があります。郷土資料については特別な資料になるので吟味して購入する必要もあるため、これから2月に特別蔵書点検期間がありますがその際などに新規購入受入の吟味を行い、手続きを行うほか、ご指摘の通り寄贈の受入態勢が不十分である部分がございますので今後は是正していきたいと思えます。</p> <p>文書資料室の方は近年の歴史関連への関心の高まりに合わせて、問い合わせや資料照会を市内外関わらず多く頂いています。こうした中でなかなか行き届いていない部分もありますが現在の嘱託員、臨時職員、文書資料室長の体制の中で順次進めております。開府400年に合わせて体制の強化も進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>11 ページについてだが、もちろん量を増やせば良いというわけではないにしても、ここの課題・方向性の2つ目の点で市役所各課に資料の寄贈依頼をしていると書かれている。これはいわゆる行政文書ということだが、市役所本庁支所含めて色々なところから集めるのも重要だと捉えているが、これについてどこまで徹底できているのか。こうした認識の醸成がなされているのか。</p>
事務局・館長	<p>市役所の公文書は全て文書登録を行っております。保存年限に合わせて適宜保存、廃棄する中で廃棄になるものを文書資料室で預かり、歴史的資料をその中から選別しております。そのため周知という点では市役所内の公文書は確実に収集しております。</p>
委員	<p>そこは各課で残そうという意識、残すことで次の政策に反映されうると意識の問題と、文書が来たらそれを選別しなければならないのでやはり文書資料室と関係各課との関係の充実、これは人なり予算</p>

事務局・館長	<p>なりということであろうが、それがないと数だけの問題とは言えない部分もあると思うのでその点について検討してほしい。</p> <p>分かりました。</p>
委員長	<p>それでは、基本評価について承認したいと思いますですがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。では基本評価について承認します。</p> <p>次に重点事項評価の審議に入ります。8ページをご覧ください。重点事項評価1「当市をはじめとする郷土に関する各種資料等の収集・保存・活用に努める」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係長	<p>まず、評価の方法について2ページをご覧ください。重点事項評価はそれぞれの取組について成果が上がっているかどうかの観点で、「AA」から「C」まで評価しました。</p> <p>8ページにお戻りください。①「貴重資料の公開」についてですが、図書館が所蔵している中で公開する機会の少ない貴重な資料・軸・書画等を時期ごとにテーマを決めてエントランス展示を行っております。また、図書館ホームページ内にある「長岡ネットミュージアム」でデジタル化した貴重資料を公開しております。</p> <p>今年度は展示用ショーケースを1台購入しました。図書館で開催する文化講座や展示会に合わせて、展示を行い現在は図書館100周年ということで互尊翁に関する展示を行っております。このように充実した情報発信を行ったということで評価は「A」といたしました。</p> <p>次に②「郷土資料の充実」についてです。図書館としては資料の収集に努めてきたつもりではありますが、残念ながら今年度の増加冊数は1971冊と少ないものとなりました。以上のことから評価は「B」としました。</p> <p>その他には委員の方もご覧になった方はいらっしゃると思いますが開府400年、戊辰150年、大河ドラマの影響もあり、図書館の資料が様々な出版物やカレンダー、日本酒のラベル等に使用されております。今後も資料の収集に力を注ぎ、充実させていきたいと考えております。</p>
事務局・文書資料室室長	<p>次に③「古文書等の歴史資料の収集・保存・活用」についてです。資料の整理・公開、他にも古文書解読講座などの普及活動などを開催</p>

しています。今年度の実績については、数値を昨年度と比較していただけだと思いますが、ほぼ同じもしくは微増しております。

特に長岡市史双書を読む会については平日午後で昨年度と同じ開催回数ですが、人数が増えており盛況です。それから長岡市史双書の刊行について、今年度は3月に来年度の図書館 100 周年に合わせ、戦前と戦後復興期の互尊文庫を特集した内容で編集中です。来年度はこちらを使って「長岡市史双書を読む会」を開催します。

課題に関しては記載のとおり市民への周知に注力していかなければならないということで、本の刊行等を通して普及活動を行ってきたいと考えております。以上の観点から評価は「A」としました。

④「歴史公文書の収集・保存・活用」についてです。まず修正があります。目的・概要の部分の3番目の「・」の箇所、「今年度から災害復興関連の」とありますが、「今年度から」を削除してください。前年度から行っていました。次に、「災害復興関連の歴史公文書は」となっておりますが、最後の「は」を「を」に直してください。申し訳ありませんでした。

「歴史公文書の収集・保存・活用」については、現用の公文書を管理する担当課である庶務課との連携が課題です。文書資料室は保存年限が満了した非現用の公文書を歴史公文書として保存する作業を行っています。昨年度保存した歴史公文書が 115 箱 1,123 件、災害関連はその中から約 250 件になりますので、分量の問題から選別の必要が出てきました。ついては課題・方向性にあるとおり、どのような歴史公文書を保存するかというガイドラインの作成が課題となっています。評価については以上の点から「A」としました。

⑤「長岡市災害復興文庫の収集・整理・保存・活用」についてです。これは今年度の重点的な行事で、災害復興文庫展、記念シンポジウムを発災月の10月に合わせ開催しました。シンポジウム、は図書館100周年のイベントの一つで、阪神・淡路大震災、熊本地震の被災地図書館の関係者を講師に招き、図書館連携をテーマに開催しました。災害復興文庫展は、震災復興関連資料をどのように残すかということテーマに展示しました。

長岡市災害復興文庫は、市民参加でアーカイブを構築するという姿勢を大切にしています。長岡市資料整理ボランティアを市民から募集し、作業を進めています。ボランティアの方は毎年微増傾向にあり、現在は50名ほどの登録があります。各回の参加者も20人ほどが集まっています。

長岡市災害復興文庫事業については文書資料室がもともと市史編さん室ということもあり、現代の歴史、中でも災害の歴史を後世にどう

事務局・奉仕係長	<p>伝えるかという観点も大切にしています。以上のことから評価は「A」としました。</p> <p>こちらの重点事項1についてですが総括評価については、貴重資料を有効に展示活用するとともに郷土資料の収集に努め、長岡市災害復興文庫事業を推進し、長岡市資料整理ボランティアとの市民協働、全国の関係機関、団体との連携、第19回図書館総合展での発表等を通し、長岡市の災害と復興に関する経験・教訓を全国に発信し、大きな反響を得たことから評価は「A」としました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。①から⑤そして総括評価についてご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>これはこちらの印象だが、②「郷土資料の充実」は確かに冊数の問題からすれば評価は「B」だろうが、収集や保存・活用するための活動を鑑みると評価が少し低く感じる。一方④「歴史公文書」についてだが活動の成果がこちらからはあまり見えていない。市役所内部と文書資料室が連携して収集し、内部公開を前提としているのだろうが、そこはそことして評価を下げる必要はないが、やはり本庁や支所での意識をどこまで定着させるかが課題だと思う。次に⑤「長岡市災害復興文庫」については毎年良くやっているとと思う。そのため評価も「AA」でよいのではないか。</p>
委員長	<p>事務局は評価を引き上げることにどうでしょうか。</p>
事務局・館長	<p>こちらとしてはそのように評価していただいて嬉しく思います。</p>
委員長	<p>ではこの重点事項の②について評価を「A」に引き上げることとします。では次に重点事項評価2「課題解決に向けた資料及びサービスの充実を図るとともに、利便性の向上に取り組む」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係長	<p>まず①「中高生向け図書館しごと応援事業」についてご説明いたします。こちらは若者向けのビジネス支援や将来の仕事について考えるための特設コーナーを設けました。今年度は570冊の資料を用意して書架を増やし資料を見やすいようにしました。こちらについて資料を1か所にまとめ利便性を向上させたという点から評価を「A」といたしました。</p>

	<p>次に②「庁内行政支援レファレンス」についてです。市行政に関する調査について図書館資料を用いての支援事業を行っております。今年度は今現在 13 件の問い合わせがあります。順調に依頼を受け回答についても迅速に行えていることから評価は「A」としました。</p> <p>次に③「子ども連れへのサービス」についてです。子どもの読書活動を推進するために子育て世代が利用しやすいサービスの提供に努めてまいりました。中央図書館では昨年度引き続き毎週金曜日に親子タイムを実施しております。また、おはなしのへやにパーツを取り外して遊べるタペストリーやぬいぐるみを設置し、子どもたちが楽しく過ごせる環境を整備しました。地域図書館でも試験的に絵本セラピー講座やおはなしひろば、親子タイムを実施し、好評をいただいております。以上の点から評価は「A」としました。</p>
事務局・庶務係長	<p>続いて④「図書館の環境整備」についてです。来館者に気持ちよく過ごしていただけるよう施設の改修整備を順次行っています。今年度の実績は冒頭に館長から説明したとおりです。評価についてはこの項目については経費面での制約がかなりあるところですが優先順位を付け、対応を行った点から「A」としました。</p>
事務局・奉仕係長	<p>こちらの総括評価についてですがニーズに合ったコーナーの設置や施設改修による利便性の向上により評価は「A」としました。事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>ただいまの説明についてご質問・ご意見はございますか。</p>
委員	<p>①「中高生向け図書館しごと応援事業」について、新しい利用を生み出すことができたというのは数字で表せるものはあるか。</p>
事務局・奉仕係主査	<p>数字は特に持っていません。</p>
委員	<p>では、これは業務を行っていたの感触ということか。</p>
事務局・奉仕係主査	<p>設置したコーナーに中高生を中心として来館者が立ち寄り、資料を手にとって見受けられるようになりました。</p>
委員長	<p>他にございますか。</p>
委員	<p>庁内行政支援レファレンスについて、せっかくのサービスで良いと</p>

事務局・奉仕係主査	<p>思うが今年度の13件というのは多いとは言えない。これも図書館の問題と言うよりは本庁や支所の方でこのサービスの認識が不十分であることだと思う。困った時は図書館にアプローチするというのがまだまだ浸透しきっていないのだと思う。この点についてどう考えているか。</p> <p>おっしゃる通り、積極的に庁内に広報しているかと言うとそう言い切れません。今後の課題として取り組みたいと思います。</p>
委員長	<p>他に意見や質問はありますか。無いようなら成果がそれなりに上っているということで評価は「A」でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それではこの項目について承認とします。それでは次に重点事項評価3は後ほど報告してもらうこととして、重点事項評価4「積極的な広報や各種機関などとの連携を進め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・奉仕係長	<p>まず①「詩人堀口大蔵と長岡展」の開催についてです。これは先ほどの報告事項で報告したとおりです。こちらですが平成30年度の長岡市立図書館開館100周年を前に図書館の所蔵資料の重要性や教育、文化に寄与する図書館の役割を紹介できたことから評価は「A」としました。</p> <p>②「各種機関と連携した事業の実施」についてご説明します。今年度は新潟県立歴史博物館で開催された「クイズとたいけん！むかしのくらし」展に合わせて昔の暮らしをテーマとし、児童書のコーナー展示を行いました。また10月から始めた事業ですが、現在はタニタカフェでひと月ごとにテーマを合わせた本を展示する「まちぼん」という事業を行っています。2月は長岡まちゼミ実行委員会が開催しているまちゼミに合わせ、関連資料の展示とブックリストの発行を行いました。このことから今年度も民間機関や公立機関と積極的に連携し事業を展開できたとし、評価は「A」としました。</p> <p>③「子ども読書活動推進計画関連事業の実施」についてです。今年度も読み聞かせボランティア養成講座を開催しました。また、希望のあった小中学校へ出向きブックトークを行いました。このことから評価は「A」としました。</p>

<p>事務局・指定管理者業務チーム</p>	<p>次に④「地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施」について説明します。これについて目的・概要として2点挙げています。1点目は近隣団体や学校、地元商店街とのつながりを深め、事業連携を積極的に実施しました。これについて具体例として2つの事業を記載しました。1つ目の西地域図書館の信濃川探検は、特色資料の信濃川に関連した行事です。信濃川河川事務所からご協力いただき、越路河川公園での水棲生物調査を行いました。学校の夏休み課題として使えることから人気があり、参加者からは好評を得ています。</p> <p>2つ目の南地域図書館の「Coffee meets Books (コーヒー ミーツ ブックス)」は読書週間にちなみ、スターバックスコーヒーと連携し行った事業です。内容としてはコーヒーセミナーと産地に関する本の紹介を行いました。普段図書館のイベントへの参加が少ない20～30代の方からも参加があり図書館の活動を周知する機会にもなりました。このほかにも記載のとおり各地域図書館で関連団体や学校等との連携事業を実施しています。今後については良い関係を築けているところとは引き続き関係を深め、利用者が特色資料や地域に関する事業についてどのようなことを求めているか等の情報収集に努めてまいります。</p> <p>続いて地域図書館の自主事業である「図書館を使った調べる学習コンクール」についてご説明します。今年度は規模拡大を目指し、運営方法の見直しを図りました。今年度は市内小学校20校から64作品の応募があり昨年度よりも応募が多くありました。前回の課題としてあった全学年一斉の審査方法についてですが、今年度は低・中・高学年それぞれに合わせた審査を行い、受賞作品を決定しました。今後の課題としてはコンクール前に行っているサポート教室の参加者が増えていることで受け入れ可能人数をオーバーする地域図書館が出てきていることです。来年度以降はできる限りの受け入れ態勢を全館で整えたいと思います。これにより評価は「A」といたしました。</p>
<p>事務局・奉仕係長</p>	<p>続いてこの重点事項の総括評価についてですが、中央図書館、地域図書館ともに工夫を凝らし様々な事業に取り組んだということで「A」評価といたしました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。この事項についてご意見やご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
<p>委員</p>	<p>まちぼん事業が紹介されていたが他の場所にも図書館の本が展示されていたかと思う。この2か所だけなのか。</p>

事務局・奉仕係主 査	この事業を始めた3年前は5か所位で展示を行っていましたが、現在はこの2か所での展示となっています。来年度に展示場所について見直しを行いたいと思います。
委員長	他の方は意見などございませんか。無いようならこの事項について評価はそれぞれ「A」となっていますが、原案通りでよろしいでしょうか。
	(異議なし)
委員長	ありがとうございます。それでは承認したいと思います。 次に重点事項評価6「子どもや若者が本に親しむ環境づくりに取り組む」について説明をお願いします。
事務局・奉仕係長	<p>まず①「第二次長岡市子ども読書活動推進計画の策定」についてですが、これは先ほどの報告事項で説明したとおりです。こちらの評価については、委員会を立ち上げ、ワーキング会議等を開催し計画の策定に向けて活動していることから「A」としました。</p> <p>次に中高生向け図書館イベントの実施についてです。今年度は若者や中高生に図書館に興味を持ってもらえるように「図書館謎解きゲーム怪盗Xからの挑戦状」というイベントを実施しました。これは図書館内の利用法等の図書館に関するクイズをもとに館内を回るオリエンテーションゲームです。参加者からは好評を得て、図書館を知ってもらうという目的は達成できたかと思います。</p> <p>一方で参加者数が前年度よりも減少してしまったことから評価は「B」としました。参加者減の理由としては開催期間が昨年度より1週間短くなってしまった点が考えられます。来年度で開催時期や開催期間について検討したいと思います。</p> <p>次に③「米百俵号による特別巡回の実施」についてです。米百俵号は現在2台で26コース102か所を年間10回巡回しています。その他にこちらのように特別巡回という形で地域のイベントに参加しています。今年度は新たに小国のかかしまつり、栃尾美術館でのとちびまつり、みしま産業まつりに参加しました。今年度から実施回数を増やし、米百俵号や図書館のPRが出来たことから評価は「A」としました。</p> <p>④「としょかんクリスマス★スペシャルコンサートの実施」についてです。これも先ほど館長からの報告のとおりです。コンサートを通じて普段図書館を利用しない親子連れ等が気軽に図書館を利用する機会を設けたことで、図書館への関心、利用の拡大につながったことか</p>

	<p>ら評価は「A」としました。</p> <p>以上のことからこの事項に置いて様々な図書館行事を通し、子どもの読書活動に繋がる活動ができたとして評価は「A」としました。事務局からは以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。この説明についてご意見やご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>①「第二次長岡市子ども読書活動推進計画」の策定についてだが、私も委員として参加している。教育、子育て関係の各課で真摯に内容を検討し、良いものが出来たと思っている。幼稚園・保育園あるいは学校関係についてこういう取り組みを、という内容の物もあった。先般出席した会議の折に学校教育課長から聞いたが、例えばメディアコントロールの取組の推進や家読（うちどく）の推進と言ったことについては教育委員会としても積極的にアイデアを出したいと言っていた。ただ一方的に現場に「ここがこういう数値だから頑張ってください」と言うものではないということでありがたく思っている。ぜひその点については今後も続けてほしいし、この事項についての「A」評価も妥当なものだと思う。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他の方はいかがでしょうか。②「中高生向け図書館イベントの実施」についてC委員にコメントなどお願いしたいのですが。</p>
委員	<p>参加者が減ったとあるがその理由が余り明確ではないと感じた。これは広報が足りなかったということか。</p>
事務局・奉仕係長	<p>これについては開催期間が昨年度に比べ1週間短く、今年は10月7日から15日の9日間で行いました。そのため昨年度と比較するとどうしても参加者数は減ることになります。</p>
委員	<p>期間を短くした理由は何か。</p>
事務局・奉仕係長	<p>展示会等の他の行事との兼ね合いがあり、期間を短くしました。そのため今後は開催時期についても子どもが足を運びやすい時期など選びたいと思います。後は広報についても力を入れていきたいと思います。</p>

委員	<p>堀口大學展については色々と伝わってきたし、入口に学校の書道部が彼の詩を書いた作品の展示があったことも覚えている。しかしこの事業については今初めて知ったのもっと PR に力を入れるべきである。このイベントのように頭を使いながら何かにチャレンジすることは図書館への興味や縁が深めるのに役立つと思う。</p>
事務局・奉仕係長	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>さっきの清水亮さんの話ではないですが、隣の附属小学校には連絡はしているか。</p>
事務局・奉仕係長	<p>しておりませんでした。もっと力を入れて PR していきたいと思いません。</p>
委員長	<p>せっかく色々な工夫をしたイベントであるからそれをもっと周知することができれば効果はあるのではないかと思います。</p> <p>課題のところは FaceBook での広報が少し空振りしたとあるがこれは興味深いことですね。最近私の大学で言えば学生たちがスマホをいじりすぎて睡眠不足になっているらしいです。健康を害しているというか夜遅くまでこれにはまってしまっており、現実の本を見ない。恐らく高校生くらいまでは食い止められるのだろうが 1 人暮らしを始めた途端にこれにはまってしまうため問題であると感じていました。大学進学や高校卒業を機に一気に自由になってしまうような部分があるため、もうすこしスマホなどの扱い方を分かっているだけでもらえれば良いと思います。少し本題とはずれた話かもしれませんが。</p> <p>ではこの重点事項の 6 について評価は事務局の原案で良いかどうか諮りたいと思います。これでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。では承認したいと思います。</p> <p>それでは最後に重点事項 3 「市民の要望・意見を広く取り上げ、図書館運営に反映させる」と重点事項 5 「勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る」について内部評価の結果を報告してください。</p>
事務局・館長	<p>まず、重点事項 3 について報告します。これについては利用者アンケートを実施しました。他に友の会事業やご意見ポスの設置等を主</p>

としています。

アンケートについては中央、地域図書館ともに例年アンケートを行っており、多くのご回答をいただいております。結果については概ね要望やご意見で実施できることは受け入れております。今後の課題としては中央図書館についてはアンケート結果の分析をより深く行い、今後の運営に結び付けていくことが重要だと考えています。これについて評価は「A」としています。

友の会事業については本日委員としてご出席いただいているD委員からご尽力いただいております。古本市や県内の図書館視察に行っただいて情報収集にご協力いただいております。友の会の会員からは様々なところでお力添えいただいておりますので評価は「A」としました。

ご意見ポストの設置については館内に設置しているご意見ポストに様々な意見が寄せられています。例えば中央図書館では駐車場の白線が消えかかっているため整備してほしい等の要望がありましたが、こちらは職員の方で早速白線の引き直し等の整備を行いました。頂いている意見にはほぼ速やかに対応していますが中には検討が必要なものもあるため出来る限りの対応を行っています。ご意見ポストについても「図書館に来て良かった」等のお声をいただいておりますので「A」評価としました。

総括としては図書館としてこちらの業務は概ね順調に活動できているため「A」としました。

続きまして重点事項5「勉強会や職場内研修をはじめ様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る」についてです。職員の資質向上のための外部研修については参加研修の一覧が資料38ページに記載されています。このように多くの職員を派遣し、資質向上に取り組んでおりますので、評価については自己研鑽に励みスキルアップを図っていると「A」としました。

内部研修については、外部研修の他に職場内研修として例えば中央図書館と地域図書館での合同で同和研修を文書資料室の田中室長を講師に行いました。同和問題については図書館業務において古文書や歴史資料の記載で問題となりそうなものがございます。そのような部分には配慮を要するため実際の資料を取りだして見てみることで研修を行っております。また、おもてなし研修と言うことで専門の講師を東京から招き、接遇研修を全館で先般実施しました。研修に関しては職員からもためになったとの声があります。中央図書館、地域図書館ともに工夫しながら自己研鑽に努めているため評価は「A」としました。

<p>委員長</p>	<p>総括評価については外部研修、内部研修共に図られているということで評価は「A」としました。</p> <p>ありがとうございました。ただいまの報告についてご質問のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>ひとつ、長岡造形大学でも今後ありうることとして、いわゆる LGBT について議論しています。特にトイレなどについて大学で学生や関係者がいた時に男子トイレ、女子トイレではない何かを考えなければいけないのではないかと検討しています。障害者とは違うと思いますが、施設の整備は金がかかる話です。この課題について図書館では検討していますか。</p>
<p>事務局・教育部長</p>	<p>図書館に限らず市の公共施設全般について研修等進めていますが予算などの問題があり、今考えているのが表示についてです。可能な限り誰でも使用できるというような表示です。全部が出来るというわけではありませんが、可能なトイレについてはそういった形で対応していこうかと考えています。また、ハード面だけではなくソフト面、つまり職員の資質向上もあるのでそれについても市の内部で研修を進めているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。そうやっていろいろと気を配ってどんどんやることが増えていくのが今の時勢であるため頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>外国人の利用について何らかの研修はあるんですか。</p>
<p>事務局・館長</p>	<p>研修ということでは特に行っていないのですが今年度から外国人向けに英文の利用案内を作成し用意しております。</p>
<p>委員長</p>	<p>分かりました。長岡もだんだん外国人の方が増えてきている感じがしますね。</p> <p>では、それ以外に何かご質問等がありますか。無いようでしたら活動評価について決定したいと思いますよろしくお願いします。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは以上を持ちまして平成 29 年度の活動評価について評価を決定します。ここで「評価の概要」について事務局から説明をお願いします。</p>

事務局・館長補佐	<p>今ほどご審議いただいた中で重点事項評価の1の②「郷土資料の充実」について、事務局案では「B」としていたものを「A」評価としていただきましたので、それを踏まえてご説明いたします。</p> <p>基本評価については13項目中4項目が「A」「AA」評価となり昨年度の5項目を下回る結果となりました。「B」評価は昨年度と同じく8項目でしたが、昨年度は無かった「C」評価が1項目発生しました。</p> <p>重点事項評価は、22項目中1項目のみ「B」評価があった他はすべて「A」評価となりました。また、総括評価ではすべて「A」評価であったことから全体としては優れた取組がいくつかあり、成果が上がっているという結果となりました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に対するご質問やご意見や全体を通しての感想などはありますか。</p>
委員	<p>中高生に向けての読書推進とあるが、私がバスに乗っていると中高生はみんなスマホに夢中になっている。高齢者が近くで立っていても座席から動こうとしない。そういった光景を見ると学校も大変なんだろう。雪が降っていても傘もささずにスマホを見ていて、バスが来たらいの一番に乗り込んで席に座る。そういった子どもたちに図書館に来てほしいと言っても難しいことだと思う。自分は活字の本やテレビばかり見ているが世代が違くとアプローチも大変だと思った。</p>
委員	<p>私が住んでいる地域は本当に図書館が無い地域なので、市の施設にはいくつか本が並んでいる。しかし利用者と言うとそれほど多くない。中央図書館や地域図書館が年間を通して頑張って広報活動をしていると分かったが、一方で地域間の格差も感じた。車を所持している人は多少遠くても大きな図書館を利用すると思うが、本離れというものを実感している部分もある。</p> <p>話が変わるが、知り合いに子どもたちにもっと絵本を読んでほしいという方がいる。自分自身が絵本好きで収集しており、それを活かして親子ではなく大人向けにコーヒーを一杯飲みながら絵本を読んでほしいというスペースを作っている。子どもに絵本を読んでもらいたいと言う前に親や大人へのアプローチを行い、絵本は子どもだけのものではないという時間を作る取組をしている。うまい意見は言えないがそういった活動があることを紹介したかった。</p>
委員	<p>少し話がそれるが、子ども読書推進計画の中で子ども家庭課が主に行っているブックスタートと言う事業がある。これは赤ん坊が5～7</p>

	<p>か月の時にある赤ちゃん相談の際に絵本を一冊もらえるという事業だ。周囲の母親たちに聞くと絵本をもらえるのはありがたいと聞かすが、まだ出かけることなどに慣れていない時期にそういうことをしてもちゃんと絵本を聞いていられなかったりするのではまた別の機会にゆっくり時間を取って本を選びたいという声も聞くので検討してもらいたいと思った。</p>
事務局・館長補佐	<p>ご意見ありがとうございます。そういったご意見はこちらでも聞いており来年度からちびっこ広場でもブックスタートの絵本をお渡しするという事業を実施する予定です。この事業を大勢の方にご利用いただきたいということで、受診率の高い赤ちゃん相談で周知の機会を設け、尚かつ他にゆっくり選べる機会の提供を進めていきたいと思っておりますので、また色々なご意見をいただきたく思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。では、評価については先ほどの説明通り「B」評価を一つ減らしたほかは原案通りとなりました。これについて特にご意見が無かったので承認したいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは承認いたします。では次のページの「図書館協議会からの意見」については委員の方それぞれから最低一回は発言があったのでそれを踏まえ私と事務局でまとめさせていただきます。</p> <p>では次に協議事項②「平成30年度の運営方針案」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>資料 No. 4「平成30年度長岡市立図書館の運営方針案」をご覧ください。こちらは運営方針、重点事項、指定管理者に伴う運用基本方針ということで例年確認させていただいております。</p> <p>運営方針については従来通りとなっております。重点事項については今ほどご審議いただいた6項目を基本骨子として踏襲しておりますが4「積極的な広報や各種機関などとの連携を深め、本と人をつなぐ、様々な事業を実施する」について特に力を注ぎたいということで表記に追加を行い「長岡市立図書館開館100周年を機に、より積極的な広報関係機関等との連携を深め本と人をつなぐ様々な事業を実施する」ことを重点項目としたいと思います。</p>

委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明についてご意見やご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>この重点事項4について追加の表記を行ったのは良いが、これは広報だけの話ではなく中央図書館、地域図書館全体に関わるものだとすると他の個々にも運営方針にこの文言を入れ込んでよいと思う。</p>
事務局・館長	<p>ご意見ありがとうございます。運営方針というのは図書館の基本的な運営方針ということであまり毎年変わるものではない柱として考えております。そのうえでその年ごとの重点事項に力を入れる事業などを盛り込むという方式で策定してきたため、来年度についてもそのように提案いたしました。</p>
委員長	<p>関連する事項なので次に進めたいと思いますが、協議事項③「平成30年度の主な事業計画案」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局・館長	<p>資料No. 5をご覧ください。主な3点について説明いたします。まず長岡市立図書館開館100周年記念事業ということで来年度にいくつかの事業を予定しております。①「所蔵資料企画展」について市の開館400年記念と重なりますので「資料に見る江戸時代の長岡」をテーマに5月18日から6月10日頃まで開館記念日をはさんで開館記念式典に合わせ実施いたします。これは当館所蔵資料が中心となりますが、以前作成した水島爾保布のカレンダーがございまして、これをもとに来年度のカレンダーを準備し、販売等したいと思っております。また、これの原画を12か月分一度に展示したいと考えております。他にもエコバッグや手ぬぐい一筆箋等も準備しておりますので、これらを活用し機運を高めたいと思っております。</p> <p>次に先ほども申しあげましたが6月8日の創立記念日の際に図書館まつりを行います。具体的には、例えば互尊文庫をめぐる歴史散歩や講堂での映画会、屋外での子供向けイベント、移動販売の誘致等をして盛り上げたいと思っております。</p> <p>続いて長岡市立図書館100周年記念事業としての松岡達英展として、美術センターで7月21日から8月5日までの開催を予定しております。こちらは長岡出身の絵本作家ということで、代表作の「ぴよーん」が間もなく100万部に到達するというので市ゆかりの作家として企画展を予定しております。こちらはワークショップなども取り入れて動きのある展覧会にしたいと考えております。</p> <p>他にも100周年記念講演会ということで作家の林真理子さんの講演</p>

<p>委員長</p> <p>委員</p> <p>事務局・館長</p> <p>委員長</p>	<p>会を10月15日月曜日の夜に市立劇場で予定しております。今の大河ドラマ「西郷どん」の原作者であります。ご自身が直木賞作家でありご実家も書店ということです。戊辰や河井継之助のこともありますので講演のテーマについては今後相談する中で市民に呼び掛けていきたいと思っております。入場は無料の予定ですが人気は予想されますので抽選等の方法については今のところ検討中です。</p> <p>記念誌の作成については内容的には前回の90周年の際に簡単な内部印刷の物を作りましたので今回も同じように作成したいと思います。</p> <p>続いて大きな柱として子ども読書活動の推進ですが、第二次計画を策定することも踏まえイベントや幼稚園・保育園等への一層の働きかけを通じて読書活動を推進していきたいと思っております。</p> <p>3番目として中央図書館の施設設備の改修として、館内の水銀灯や蛍光灯を随時LEDに更新したいと思います。消防設備についても経年劣化で一部作動しなくなっているものもあるので順次入れ替えて環境整備を進めていきたいと思っております。これらについては3月の市議会で承認され予算が決定する予定ですが、このように準備を進めていきたいと思っております。</p> <p>ありがとうございました。ただいまの説明に対してご質問やご意見のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>もちろん周年事業はにぎやかにやってしかるべきではあるが、一方で通常業務もあるため、そちらが疎かにならないようにマンパワーの管理等をお願いしたい。</p> <p>また、29年度の図書館クリスマススペシャルコンサートの実施については良かったと思うが、今後を考えた場合運営上トラブルがあったように見てとれる。そのため林真理子さんの講演会も相当数応募が殺到するだろうからコンサートの課題を踏まえ、可能な限りスムーズに運営してほしいと思う。</p> <p>分かりました。</p> <p>他はいかがでしょうか。無いようですので、これで本日の議事を終了したいと思います。</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>